平成30年度



A組

B組

A組 B組

C組

F組

G組

計 A組

B組

F組

全校 合計

11

11

12

11

2.3

16

33 3

13

0

0

38

13

13

26

97

 $\bigcirc$ 

1年

2年

3年

# 大仙市立西仙北中学校

歌

作詞 佐々木 正吉 補作 菅 原 朣 洋 作曲 後 藤

1

- 鳥海山 仰ぎみる 立志の丘に 風清く 共に学ぼう 希望を胸に われらの夢が 咲くように 生き抜く力 はぐくもう ああ 西仙北 中学校 心の大地
- 雄物川 洋洋と 野を拓く 大地潤し 共に語ろう 絆を胸に われらの夢が 咲くように 未来に向かい はばたこう 中学校 ああ 西仙北 心の泉

## 学校の概要

今年も立志の丘に 世界一のひまわりが鮮やかに咲きました

**所在地** 〒019-2112 秋田県大仙市刈和野字田中蟻塚12番地 JR奥羽本線「刈和野駅」から2.8km Tel 0187-75-1108 Fax 0187-75-2735 e-mail:nb-nishisentyu@edu.city.daisen.akita.jp http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~ns-nishisenbokutyu1/



28

27 55

23

25

1

1

75

24

24

49

#### 大仙市立西仙北中学校誕生

平成24年4月1日、大仙市立西仙北東中学校(約150名)と大仙市立西仙北西中学校(約60名)が統合し、「大 仙市立西仙北中学校」となりました。校舎は、旧西仙北東中学校校舎です。平成30年度は創立7年目で す。

旧西仙北町地区内に小学校が1校(4小学校が1校に統合)、中学校が1校となりました。

生徒たちの通学は、徒歩、自転車、スクールバスとなりました。スクールバスは、11台で運行します。 西仙北小学校と共通のバスで、朝は、本校で生徒を下ろし、小学校へ向かい、帰りは、小学校で児童を乗 せて、中学校に来て、生徒を乗せていきます。帰りのバスは午後4時50分バスに加え、午後7時バスが 運行されており、部活動の面でも便利になりました。

## 校訓について

「立志」 志を立てること。将来の目的を定めて成し遂げようとすること。 「善心」 人の道にかなったよい心。良心に恥じない心。精進する心。ま た、清浄な慈悲の心。

すぐれた知恵。深く物事の道理に通じる才知。哲学で、物事の真実在の理性的、悟性的認識。

また、それを獲得しうる力。ソフィア。 新生西仙北中学校のスタートにあたり、校歌に込められた新しい学校への思い「立志の丘」から「立志」 を一番目にもってきました。キャリア教育の根幹をなす自分のあるべき姿、自分が向かおうとしている将来の姿、これらをもつことが、人生への意欲、生きる意欲、生きる力に通ずると考え「立志」としました。 「善心」は仏教用語ですが、「知・徳・体」の「徳」にあたる部分です。今の心のボルテージを少しでも

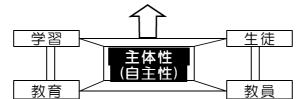
上げようと努力する生徒に育ってほしいと思います。また、「善心」は「ゼンシン」という響きをもち、「前 進」につながります。常に、前進し、新しい自分との出会い、新しい自分をつくってほしいです。心の教 育の充実を期します。

「叡智」は、その名のとおり「知」に通じます。学校教育で学んだ「知識」が「生きて働く力」に変わ るのは「知恵」として身に付いたときです。豊かな人生を送るための「叡智」を中学校3年間で身に付け てほしいです。

以上の願いを込めた校訓「立志(りっし)善心(ぜんしん)叡智(えいち)」としております。



学校教育目標 学び合い 支え合い 高め合い



豊かさを求める生徒

~何をもって西仙北中たらん~

"サンフラワー7th;特色ある教育活動の充実を期す"

立志 善心

〈校訓〉

大仙市立西仙北中学校

叡智

## ◇ 具体的な生徒像

― 学び続ける生徒

- ・学びに主体的に向かう生徒
- 学びが生きる力の基本であると認識できる生徒

◇ 求める生徒像

・自分を取り巻く全てから学ぶ生徒

## ◇ 具体的な方策(場)

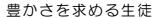
----- 学び続ける生徒

- ・意欲(学習意欲)と向上心を喚起する課題・題材 提示及び導入・展開・振り返り
- 教師の姿勢、共通理解に基づく指導
- ・同僚性の構築を目指した校内授業研究会

## ---- 豊かさを求める生徒

- 「分からないから教えて」が言える生徒
- ┃・訊かれたら応えられる生徒
- 人の悲しみや痛みを分かろうとする生徒





- ・生徒指導の充実
- ・読書活動の推進

学び続ける生徒

- ・ 道徳教育の充実
- ふるさと・キャリア教育、学級活動の充実

## <u>--</u> 自己表現できる生徒

- ・自分を開くことができる生徒
- ・自分の言葉で伝えられる生徒
- 作品等を通して自分を表現できる生徒



自己表現できる生徒

### 自己表現できる生徒

- ・教科での言語活動の充実と特別活動での自己実現
- |・全校生徒集会の実践・継続
- ・学校祭(立志祭)や体育的行事、体験学習等における生徒の企画・運営、及びその指導の充実

## ◇ 学校教育目標を実現するために義務教育9年間及び次のステップを見通した指導(開かれた教育課程の充実) ※国立教育政策研究所教育課程研究指定校における研究財産の活用

- (2) 授業と家庭学習との連携、家庭学習強調期間の設定
- (3) 西仙北幼保・小・中・高の連携 (学びの連続性・継続性)
- (4) 学校図書館の充実、朝読書推進
- (5) 自分を高めるものへの挑戦(漢字検定、数学 検定、英語検定、算数オリンピック、わか杉チャレンジフェスティバル 等)

## 支一道徳教育、生徒指導、キャリア教育 =

- O 生徒指導、生徒支援 (1) 基本的生活習慣の確立
- (2) 不登校・いじめ等の早期発見、早期対応及び 専門機関等との連携
- (3) 生徒指導の三機能を生かした実践

#### つ 道徳教育

- (1) 思いやりの心を育てる道徳教育及び福祉の心を育てる諸活動の実践
- ふるさと・キャリア教育(進路指導)
- (1) キャリア教育での基礎的・汎用的能力(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)を全教育活動で育成し、将来を見通した進路指導の充実、教科等におけるふるさと・キャリア教育の推進
- (2) 学級活動(進路の時間)を核とし、職場訪問、 職場体験、高校訪問の充実、講話集会、専門学 校・大学訪問等の実施

## 学・支・高ー地域に開かれ、地域と共にすすめる 特色ある教育活動「西仙北中学校地域活性化プロジェクト」

- (1) **地域活性化に貢献できる生徒の育成**、相互交流による地域貢献 活動の実践。**(「大仙教育メソッド、小・中連携」)**
- ・西仙北支所地域活性化推進室との連携、ゲストティーチャーの活用、国際教養大等の活用、地域の文化財や美術館等の活用
- (2) ふるさと・キャリア教育の推進
- ボランティア活動による触れ合い活動の一層の推進。
- (3) 学校体制で確立するPDCACAサイクルによる学校評価システムの活用(学力・学習状況調査、保護者・生徒学校生活アンケート等)
  - ・内部評価や外部評価結果の分析と取組・実践の改善、及び学校評議員会等の効果的な活用を図る。

#### 高一特別活動

- (1) 生徒会活動の推進・充実~集会やボランティア活動の推進
- (2) 生徒のアイデアや体験的な活動を生かした学校行事創造・実践
- (3) 宿泊体験活動の実施

### - 同僚性の構築を目指した校内授業研究会 -

- 研究主題 生徒が「分かる、できる、楽しいと実感できる授業」の実践 ~「つなぐ」を意識した学び合いを生かす授業の追究~
- (1) 秋田型探究学習や課題解決型授業の充実・改善
- (2) 「学び合い」に耐えうる課題提示と題材開発(作業的活動を含む課題)を行う。
- (3)「分からない」ときに友達に「分からないから教えて」という人間関係をつくる。
- (4) 4人で1グループを形成し、市松模様の男女構成、コの字型形態を原則とする。
- (5) 友達の話す内容を聴き合うことが基本である。
- (6) 生徒と生徒、生徒と題材(モノ)、題材(モノ)と教師をつなぐ。

## ※教えて考えさせる指導 学習の主体は生徒、教育の主体は教員

#### 育政策研究所教育課程研究指定校における研究財産の活用 ┏━━━━━━━━━━━ 教師の姿勢

- (1) 授業改善「主体的・対話的で、深い学び」の実現(研究・研修) 「学び合い」にふさわしい学習課題と題材提示。
  - ※ 魅力的かつ興味・関心を引く導入→自力解決・自分の考えの形成→「学び合い」→まとめ・振り返り→次時への意欲
- |(**2) 失敗を恐れない活動とその後の態度** | 失敗から学ぶ。「過ちて改めざる、これを過ちという」
- (3) ちょっとだけ変えて、また、訊いて実践する積極性も 現状維持は後退。昨年と同じでない創意工夫を。
- (4) 生徒(人間)尊重 生徒を一人の人間として対応する謙虚さ、及びその言動。
- (5) 深い思索を平易な言葉で 生徒が分かる平易な言葉で、濃い内容の要点を的確に。
- (6) **教えることは学ぶこと(Teaching is learning.)** 教えるということは、常に自分がそこから学んでいること。
- (7) **開かれた学校のさらなる推進** 学校と地域が双方向で交流・実践。
- (8) 連携研修の充実

幼保・小・中・高連携とともに計画的な校内授業年間計画。 生徒の視点に立った「学びの連続・継続」を意識した指導

(9) チームワーク・フットワーク・インサイドワーク・ネットワーク~情報を発信する生徒・教職員・学校 情報発信ができる学校づくり。何事にも素早く的確な対応ができる生徒・教職員・学校。

## 年間行事予定

4月

5月

6月

7月

9(火)66月日の (大)6月日の (大)7月日の (大)7日日の (大)7日の (大)7日の (大)7日の (大)7日の (大)7日日の (大)7日日の (大)7日日の (大)7日日の (大)7日日の (大)7日日の (大)

3(月)早朝クリーンアップ 4(火)大曲の山北教育県少年 5(水)~29(日)全県少年 1(火)大仙中教 1(火)大仙市教 1(火)大人仙市教 1(火)大奏楽コンク宿泊体験 7(火)心るさき (水)心るさき (水)心のるさき (水)間 (水)間 (水)間 (水)ののるさ (水)ののるさ (水)間 (水)ののるさ (水)間 (水)ののるさ (水)間 (水)ののるさ (水)のの。 (水)の。 (水)

9月

8月

10月

7(月)学校部 (1)学校部 (1)学院 ( 11月

12月

#### PTA·職員一覧 IV

後 康 文 池 毅 裕 T 副会長 佐々木和則 佐々木隆 太 小笠原 晃 Α 田村真由美 役 監 事  $\blacksquare$ 村 佳 由 彩 太  $\blacksquare$ 子 子 市川真喜 幹 事 伊 計 藤 順

伊藤 智子 役 母親委員 鈴木 恵子 広子 伊藤 大上真由美 1年部長 学 副部長 佐々木美奈子 年 2年部長 小笠原 健 部 副部長 鈴木 淑子 役 3年部長 田村 政広 副部長 小笠原秀起 広報、研修、環境、 専門部

校外指導

			_			10 11 45 41 5	+0.7 ++0.11	
No.	職名•校粉掌	氏		名		担当教科名	部活動担当	
1	校 長	<u> 小い空</u>	沪	晃				
2	教 頭	市	Ш	真喜子		国語		
3	主任主査	伊	藤	順	子			
4	養護教諭	古	村	香				
5	主任学校栄養士	藤	澤	_	子	(西部学	西部学校給食センター)	
6	生徒支援	小八	西	B	券	理科	生活文化、柔道	
7	教務主任	藤	澤	和	37	音楽	吹奏楽	
8	教育専門監	佐人		知	子	外国語	吹奏楽	
9	1年主任	井	合	潤	子	外国語	バドミントン	
10	1年学年担任	高	橋	邦	幸	社会		
11	1年A組担任	$\blacksquare$	中	真二	二朗	美術	バドミントン	
12	1年B組担任	新	$\blacksquare$	南	ᅪ	保健体育	野球、陸上競技	
13	2年主任	赤	Ш	嗣	昭	数学	ソフトテニス	
14	2年A組担任	後	松	静	香	保健体育	バレーボール	
15	2年B組担任	関		洋	平	数学	バレーボール	
16	2年C組担任	佐	藤	智	仁	数学	バスケットボール	
17	2年G組担任	熊	澤	理津子		家庭	バドミントン	
18	3年主任	菊	池	嘉	隆	国語	卓球	
19	3年学年担任	瀧	澤	美	里	外国語	バスケットボール	
20	3年A組担任	栗	Ш	琢	也	理科	生活文化、テニス	
21	3年B組担任	Ш	内	健		社会	野球	
22	F組担任	髙	$\blacksquare$	和	俊	技術	卓球、生活文化	
23	A L T	ジャ	クソン	ハゼマ	?ン	外国語	(アメリカ)	
24	学校栄養職員	伊	藤	悠 里		(西部学校給食センター)		
25	主任技能員	佐人				進路指導	(主事:菊池嘉隆	
26	校 務 員	佐	藤	薫		研究主	任 :栗山琢也	
27	心の教室相談員	佐	藤	σV		生徒指導	主事:後松静香	

## 生徒の推移

25年 元年 176 平成24年 214 平成25年 平成26年 198 平成30年 179 ? 2年

#### 平成30年度 生徒会テーマ 「Share hearts our

~繋げ7年目の襷~

29(火)公立高校前期選抜

1(金)1・2年綱よい

4(月)生徒総会

5(火)前期選抜合格発表

10(日)綱のばし、刈和野大綱引き

12(火)2月10日の振替休業日

13(水)小学生体験入学

15(金)1・2年スキー教室

22(金)後期期末テスト

26(火)PTA授業参観

5(火)公立高校一般選抜

3月 9(土)卒業式

11(日)3月9日の振替休業日

13(水)公立高校一般選抜合格発表

20(水)修了式

28(木)離任式 29(金)新入生一日入学

